

## 政治・経済

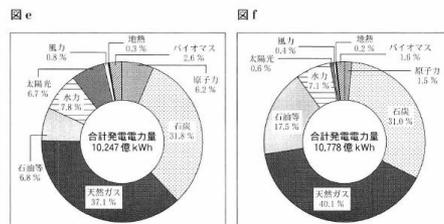
## 第1問 問4

## 知識と組み合わせて、資料から読み取れることを論理的に判断する問題

問4 下線部①に関連して、生徒Xは、日本の地球温暖化対策に関心をもち、次の資料を作成した。資料中の空欄 **ア** には後の記述 a か b、空欄 **イ** には後の記述 c か d、空欄 **ウ** には資料中の図 e か図 f のいずれかが当てはまる。空欄 **ア** ~ **ウ** に当てはまるものの組合せとして正しいものを、後の①~⑥のうちから一つ選べ。 **4**

政府は、2020年10月、2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を日本全体として実質ゼロにすると言った。この宣言の意味は、化石燃料に替わる新たなエネルギーや新技術の開発などを進めることにより **ア** ということであった。

日本のこれまでの温室効果ガス排出削減対策をみると、2012年に固定価格買取制度が導入された。この制度は、**イ** を対象としている。その影響を調べるために、2012年以降の発電電力量のデータをもとに次の図 e と図 f を作成した。図 e と図 f はそれぞれ、2012年と2019年のいずれかのものである。



(出所) 経済産業省 Web ページにより作成。

これらの図から、化石燃料による発電電力量の比率が合計発電電力量の75%以上も占めていることがわかる。さらに、電力以外のエネルギー利用からの温室効果ガス排出も含めて考えると、政府目標を達成する道りはけわしいといえる。ただし、固定価格買取制度の影響は、電源別発電電力量の比率から読みとることができる。2019年の図は **ウ** となる。

**ア** に当てはまる記述

- a 温室効果ガスを排出するエネルギーの使用をゼロにする
- b 温室効果ガスの排出量と植物などによる吸収量との間の均衡を達成する

**イ** に当てはまる記述

- c 再生可能エネルギーによる発電
- d 原子力エネルギーによる発電

- ① アー a イー c ウー 図 e
- ② アー a イー c ウー 図 f
- ③ アー a イー d ウー 図 e
- ④ アー a イー d ウー 図 f
- ⑤ **アー b イー c ウー 図 e**
- ⑥ アー b イー c ウー 図 f
- ⑦ アー b イー d ウー 図 e
- ⑧ アー b イー d ウー 図 f

**2023年度大学入学共通テスト**  
**「政治・経済」**

受験者数: 44,695人  
 平均点: 50.96点  
 標準偏差: 15.30

## 出題の特徴

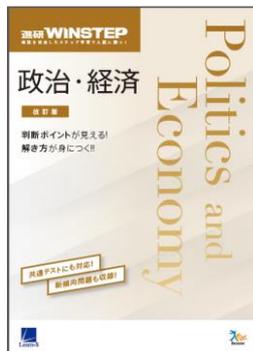
第1問の問4では、日本の地球温暖化対策を題材に展開された設問文と資料をもとに、空欄に当てはまる文章や図を判断する、資料から読み取れることを論理的に考える力が試されました。設問文の内容から2019年の図が判別できるか、また、日本の地球温暖化対策の基本的な知識が理解できているかが問われました。

## 指導のご提案

今回の共通テストでは文字資料、模式図、統計資料など多くの資料が用いられ、知識を活用する力などが求められました。この力をつけるには、用語を覚えたその先として、目的や背景、対立する概念、類似する概念などを考察する学習が必要ではないでしょうか。正確な知識の習得に加えて知識を活用する力を育むためには、共通テストにみられたような多様な資料を使い、感想を書かせる、自分自身に置き換えて考察させるなど、生徒がリアクションできるような授業の工夫が考えられます。

## 教材のご紹介…「進研WINSTEP 政治・経済[改訂版]」

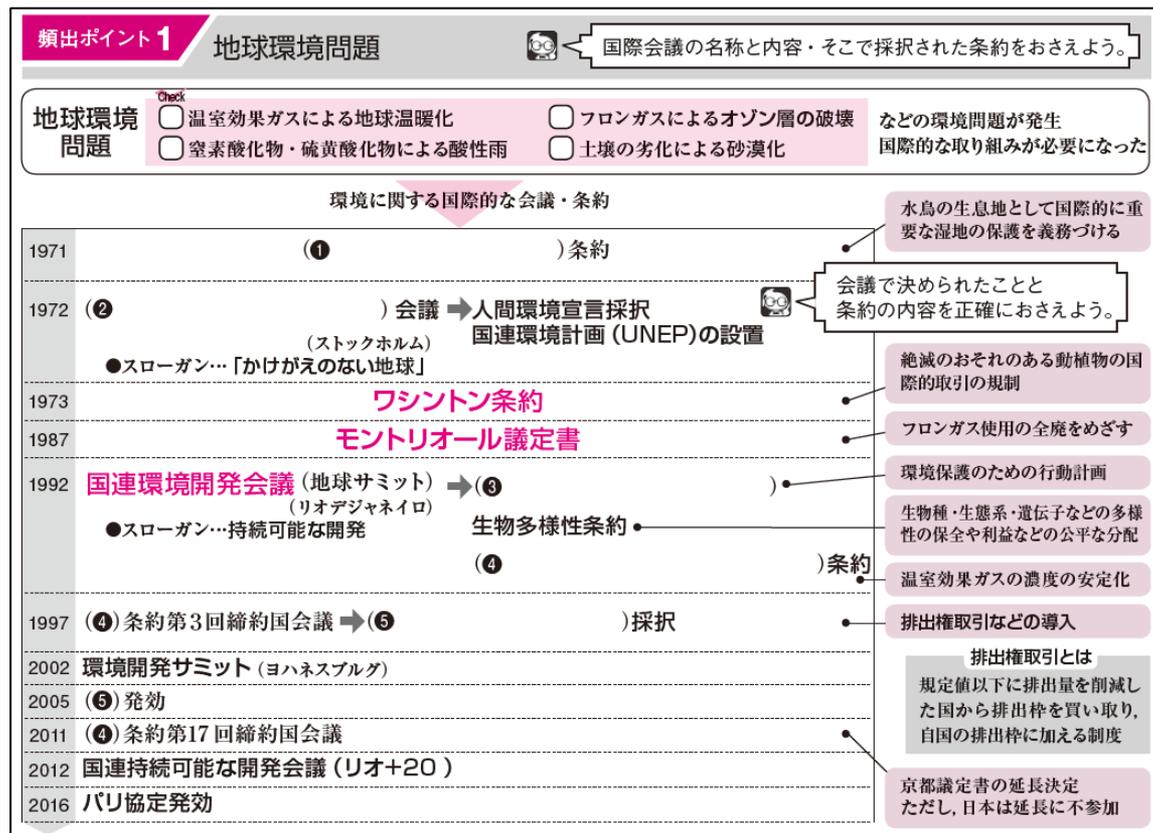
### 知識と組み合わせ、資料から読み取れることを論理的に判断する問題



定価 980円 (税込み)

活用できる知識を習得し、解答する力を身につける

現代の社会において、地球環境問題は解決すべき大きな課題であり、共通テストでも頻出の分野です。環境保護の取り組みの流れや、関連する用語を確実に押さえておくことは、共通テストの問題を解くうえで重要です。



入試頻出の知識を「使える状態」に整理し、3年生2学期からの本格的な実戦演習へ

「2024共通テスト対策【実力完成】直前演習 政治・経済」(2023年6月発刊)